

第7回全国離島交流中学生野球大会

8月18日(月)から8月22日(金)まで、佐渡を会場に、「国土交通大臣杯第7回全国離島交流中学生野球大会(離島甲子園)」が開催されました。

この大会は、プロ野球の往年の大エース村田兆治氏の提言によって平成17年に創設された「離島交流少年野球大会」が前身となり、その後、参加チームの拡大により、平成20年から全国大会として位置づけられました。



この大会は、全国の離島の中学生が一堂に会し、野球を通じて交流することにより、人間形成や地域振興に寄与することを目的としています。参加チームはトーナメント形式で優勝をめざしますが、敗者となったチームも交流戦を通じて再度ゲームを楽しみます。離島の中学生球児が力を競う唯一の全国大会。熱闘の舞台は佐渡島。過去最多の22自治体から23チームが参加し、トーナメントを闘い抜きました。

表彰

- 最優秀選手賞 深田 球児 (種子島中学校)
- 優秀選手賞 阿比留魁士 (対馬ヤマネコボーイズ)
- 村田兆治特別賞 遠藤 壮真 (佐渡市立佐和田中学校野球部)
- 特別賞(アシックス賞) 隠岐の島あんやらず、種子島中学校

成績

- 優勝 種子島中学校
- 準優勝 対馬ヤマネコボーイズ
- 3位 佐渡市立佐和田中学校野球部
- 3位 五島バラモン

